

1 事業の背景と目的

(1) 事業の背景

我が国は、世界でも類を見ない超高齢社会に突入しています。横浜市においても、急速に高齢化が進行しており、2025年（平成37年）には市内人口の高齢者人口は約100万人に迫り、市内人口の4人に1人以上が65歳以上の高齢者となることが見込まれています。

このような超高齢社会を迎えて、横浜市では健康寿命日本一を目指し、全市民で取り組む健康づくりを進めています。横浜市の健康づくりの指針である「第2期健康横浜21」においては、「運動」を取組テーマの一つとして設定し、働き・子育て世代（成人期）では「あと1,000歩、歩く」、稔りの世代（高齢期）では、「歩く・外出する」が行動目標として掲げられています。平成26年12月に策定された「横浜市中期4か年計画2014~2017」では、未来のまちづくり戦略の中で、「全市民が健康づくりに取り組むまちづくり」を進めることとされており、それを踏まえた基本政策において、健康みちづくり（歩行空間等の整備検討）などによる健康づくりの場の創出に取り組むこととされています。

また、平成26年11月には「よこはまウォーキングポイント事業」が開始されるなど、歩きやすく魅力的な歩行空間の整備の重要性がますます高まっています。

(2) 事業の目的

「健康みちづくり推進事業」は、市民の皆さまの健康増進や外出意欲の向上に資する歩行空間を整備することにより、楽しみながら健康づくりに取り組める場を創出するとともに、一人ひとりの健康寿命を延ばし、いきいきと楽しく暮らせる活力ある横浜を創ることを目的とした事業です。

2 実施計画策定の目的（位置づけ）

本実施計画は、健康みちづくり推進事業を計画的に進めていくため、事業の実施における基本的な考え方、標準的な整備メニュー、整備を予定するルート計画等を定めるものです。

なお、事業は横浜市基本構想（長期ビジョン）で展望されている期間や、未来のまちづくり戦略のターゲットを考慮し、2025年（平成37年）を基本目標として進めていきます。